

防蟻と耐震

DAINAGA

# オプティMDFパネル

防蟻構造用MDF



オプティ

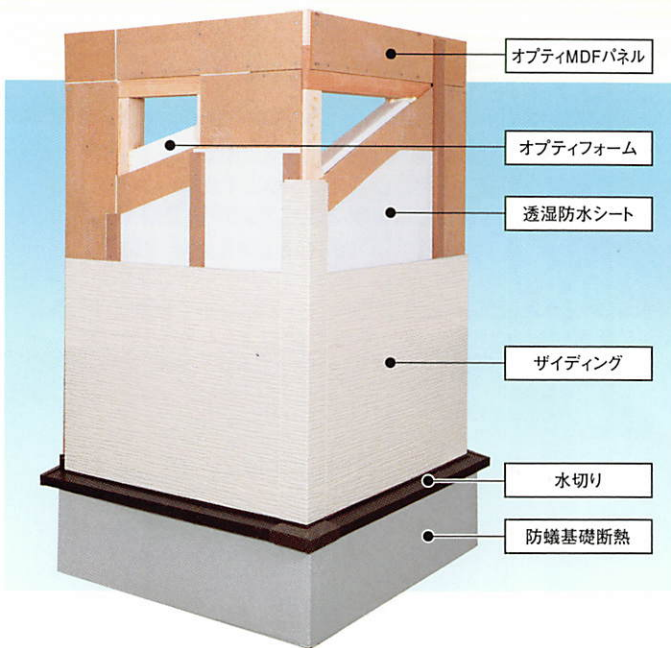


# 恐ろしいシロアリ被害の対策は万全

## 「発泡スチロールの」専門メーカーがお届けする優れたもの 防蟻と耐震・高断熱と高気密・丈夫と

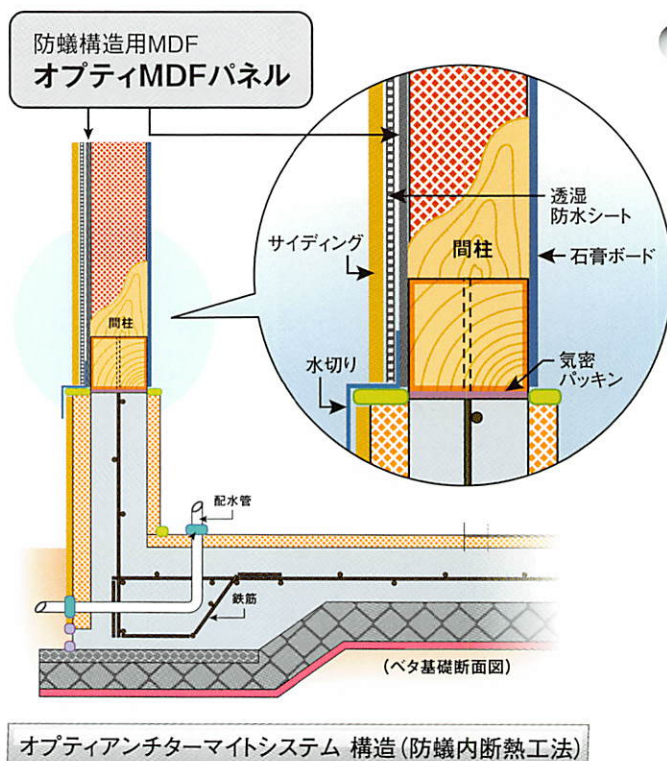
快適な住まいを作るには「基礎部分の断熱と防蟻対策」が必要です。光と風を嫌うシロアリは地中に蟻道を作り、基礎部分から家屋に侵入し大きな被害をもたらします。

弊社が提案する防蟻基礎断熱工法「アンチターマイトシステム」は完璧な防蟻システム構造になっておりシロアリの侵入と被害をシャットアウトします。更には防蟻基礎断熱上の構造躯体（土台・柱・横架台）の外壁面にオプティMDFパネルを全面に使用し、全体を覆うことで防蟻と耐震、丈夫と長持ちを達成できます。



MDF (ミディアムデンシティファイバーボード)

OptiMDF Panelは、外壁通気壁工法の下地材として使用して下さい。





# ですか？

防蟻主成分はチアメトキサム

## 長持ち・安心と快適な住まいを提案

オプティMDFパネルは防蟻構造用MDFと防蟻断熱材(オプティフォーム)を貼り合わせた壁材です。

防蟻基礎断熱工法(オプティアンチターマイトシステム)上の躯体部分(土台・柱・横架材)である外壁をオプティMDFパネルで一体化し、パネル間の突合せ間隔目地や角の突合せ部の隙間などに、オプティシールを切れ目なく挿入することで完璧な防蟻対策が図れます。

木造軸組工法(大壁工法)



オプティアンチターマイトシステム構造

### 製品規格

#### ■ オプティフォーム

品番	特号品		3号品		4号品		ホルムアルデヒド放散等級
有効厚味	400	500	400	500	400	500	F☆☆☆☆等級
920×1830	○	※	○	※	○	※	
1020×2030		※		※		※	
920×2420		※		※		※	
920×2720		※		※		※	

★厚味1mm単位でスライス加工が可能です。  
※受注生産対応で各種ブロックサイズ対応が可能です。

#### ■ 構造用MDF

品 種	JIS区分	幅	長さ	ホルムアルデヒド放散等級
構造用MDF	Mタイプ (MSP)	908 998	2730 3030	F☆☆☆☆等級
	Pタイプ (PAT) 防蟻仕様			F☆☆☆☆等級 長期優良住宅対応品 防腐・防蟻認定品

★食害による重量減少率(%)耐蟻性能試験は3%未満が合格。



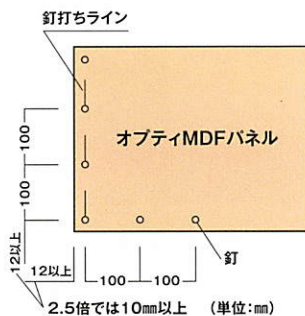
## オプティMDFパネルの性能表

項目	単位	オプティMDFパネル 9mm	
		JIS規格値	実測値*
含水率	%	5~13	—
曲げ強さ	N/mm	30以上	—
吸水暑さ膨張率	%	12以下	3.5
透湿抵抗	m <sup>2</sup> ·h·mmHg/g	—	2.0
	m <sup>2</sup> ·s·Pa/ng	—	0.96×10 <sup>-3</sup>
熱伝導率	W/(m·K)	—	0.119

※実測値は弊社の試験の結果で、性能保証値ではありません。  
試験実施状況、製品改良、改善等の諸般の事情により、数値は変更することがありますので予めご了承ください。

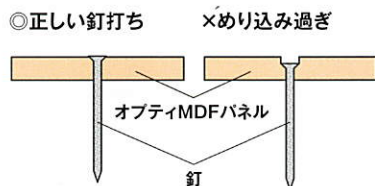
- オプティMDFパネルの外周部には、釘打ちラインが50mm間隔の破線で表してあります。これを目安に釘打ちを行って下さい。釘打ち位置は面材の端部から12mm以上内側に統一することもできます。

**!** **ご注意**  
必ず守る



- 釘打ち機で施工する場合、釘頭がめり込みすぎると必要な耐力が発揮されなくなります。釘頭が表面で止まるように釘打ち機の設定及びエア圧(6kg/cm<sup>2</sup>程度)を調整してください。釘がささらなかった部分はハンマーで表面まで打ち付けてください。
- 市販されている釘打ち機の多くは釘のめり込み調節が可能になっているので、めり込まない設定にしてください。釘頭が2mmを超えてめり込んだ場合は、15~30mm程度離れた位置に増し打ちしてください。

**!** **ご注意**  
必ず守る



## 施工に用いる釘と釘打ち仕様

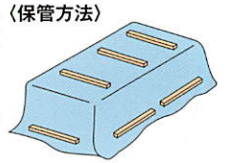
- 釘はJIS A 5508で規定されたものを使用してください。

工法と施工仕様	壁倍率	釘種	釘打ち間隔	釘打ち位置
木造軸組工法 直貼り	4.0	CN65		端部から12mm以上内側
	2.5	N50又はCN50	外周部 :100mm以下	端部から10mm以上内側
受材	2.5	N50又はCN50	中間部 :200mm以下	
受材真壁・床勝ち	2.5	N50又はCN50		
枠組壁工法	3.0	CN50		

## 取扱い方法

### 保管・管理

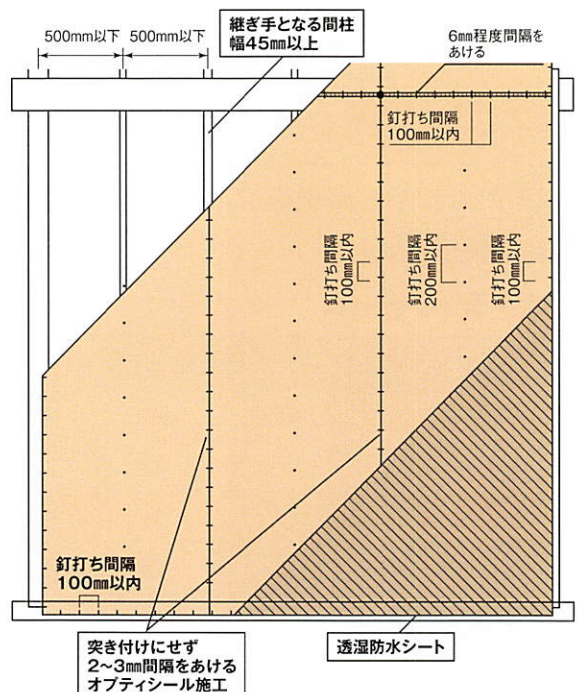
- オプティMDFパネルを保管する場合は原則として屋内とし、直射日光、雨水を避けて風通しの良いところに保管してください。
- 板の反り、波打ち、割れ防止のため、平らな場所に角材を70cm以下の間隔で敷いて平置きしてください。
- 止むを得ず屋外で保管する場合には、雨水等がかからないように必ずシート掛けを行ってください。
- 雨水等がかかると、板の寸法変化や角材のアクによる汚染が生じる場合があります。



### 耐力壁施工上の注意事項

- オプティMDFパネルは正しい施工が行われないと商品の性能が発揮されず、不具合が発生する場合があります。標準施工法に基づいて正しく施工してください。標準施工法以外で施工した物件の苦情、お取替等には応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 壁倍率を確保するためにも釘打ち間隔、釘打ち位置を守り、柱・間柱・横架材・受材に対して確実に釘打ちを行い施工してください。下地との兼ね合いで釘打ちが広がる場合には、必ず増し打ちしてください。
- 構造用施工後は速やかに透湿防水シート等による防水措置を講じてください。外壁施工の際は通気工法としてください。また、室内から壁内への湿気の侵入を防ぐ(防湿フィルム)等の、壁内が多温にならないような措置をしてください。
- オプティMDFパネルの継手の部分(2~3mm)や角(コーナー)の継手部分目地部の箇所は、切れ目の無いようにオプティシールを挿入し隙間をなくして下さい。

## オプティMDFパネル施工のポイント(直貼り仕様)



パッキングと包材の専門メーカー  
**ダイナガ株式会社**  
DAINAGA CORK CO.,LTD.

●本社・工場 〒536-0014 大阪市城東区鶴野西1丁目2番7号 TEL 06 (6962) 1551 FAX 06 (6961) 3631  
●東京営業所 〒104-0045 東京都中央区築地2-10-5 寿ビル TEL 03 (3541) 0702 FAX 03 (3541) 0899  
●名古屋営業所 〒451-0041 名古屋市中区福下1丁目13番16号 小川屋ビル TEL 052 (565) 1569 FAX 052 (565) 1584  
URL <http://www.dainaga-kk.co.jp>

